

加西市議会だより

No.186

2

令和8(2026)年

善防山から望む初日の出

議会報告「市民との意見交換会」を開催 (P15)

- 12月定例会
- ・ 議案審議レポート (P2～5)
 - ・ 議決結果 (P6)
 - ・ 一般質問 (P7～13)

議案審議レポート

※ 議案は、本会議での質疑の後、所管の常任委員会に付託して慎重に審議しました。
主な議案と審議の経過について紹介します。

新病院建設基金の 積立て目標額は 20 億円

議案第 74 号 加西市新病院建設基金条例の
制定について

概要 市立加西病院の移転整備の財源として発行する
地方債の償還経費について、その 2 分の 1 を一般会計
から病院事業会計に繰り出すことになるが、病院事業
会計への計画的な繰出金の支出及び一般会計の財政負
担の平準化を図るため、償還に先立ち財源の確保を行
い、当該繰出金に充てることを目的として加西市新病
院建設基金を設置するもの。

質 疑

問 新病院移転整備に係る地方債の償還予定は。

答 地方債償還金は総額 180 億円を見込んでおり、新
病院開院の令和 12 年度から 30 年間で償還します。
令和 16 年度までの 5 年間は元金据置きとなり、17 年度
から元利償還が本格化して毎年 6 億円を返済していく予
定です。

問 基金の積立て方針は。また、その財源は。

答 積立て目標額は 20 億円です。令和 7 年度から 16
年度までの 10 年間、毎年 2 億円を積み立てます。
なお、ふるさと応援基金を財源とします。

問 基金の取崩しの計画は。

答 令和 17 年度からの償還 6 億円のうち一般会計から
の繰り出しは 3 億円、そのうち 2 分の 1 は地方交
付税による財政措置があるため、一般会計の実質負担は
1 億 5,000 万円です。この実質負担分を基金より取り崩
して充当します。期間は、一般会計の公債費が減少して
財政の平準化が見込まれるまでの 13 年間の計画です。

討 論

賛成

・社会情勢を踏まえた積立て計画を立て、資金不足によ
り開院が遅れることのないようお願いしたい。(本会議)

議決結果

全会一致で原案可決

自動交付機は廃止 コンビニの発行手数料が 150 円に

議案第 76 号 加西市手数料条例の一部を改
正する条例の制定について

概要 市の基幹業務システムを国が進める自治体標準
化システムへ移行することに伴い、令和 8 年 1 月 18 日
をもって自動交付機を廃止する。また、マイナンバー
カードを利用してコンビニエンスストアに設置されて
いる端末機から、証明書等を取得する際の手数料を 250
円から 150 円に変更する等所要の改正を行うもの。

手数料を徴収する事務 (端末機利用の場合)	現行	改正案
租税及び公課に関する証明	250 円	150 円
印鑑登録証明		
住民票の写しの交付		

※ 市役所窓口で取得した場合はいずれも 300 円

答 令和 7 年 10 月末現在の発行状況は、市役所窓口
が 8,058 件で 48.5%、自動交付機が 4,422 件で
26.6%、コンビニが 4,136 件で 24.9%となっています。

問 手数料を 250 円から 150 円に変更する理由は。

答 コンビニでの証明書等の発行を促進することによ
り、自動交付機の廃止に伴う市役所窓口の混雑解
消を図るためです。

討 論

賛成

・コンビニでの証明書取得に慣れない市民も多いため、
コンビニの端末機と同様の機械を市役所に設置してい
ただきたい。(本会議)

議決結果

全会一致で原案可決

質 疑

問 現在の証明書の発行状況は。

日吉・宇仁・西在田学童保育園を 廃止、泉第3・北条東第3学童 保育園を開設

概要 小学校の統廃合により、日吉学童保育園、宇仁学童保育園及び西在田学童保育園を廃止し、泉第3学童保育園を新たに開設することに加え、北条東学童保育園の待機児童の解消のため、北条東第3学童保育園を新たに開設するもの。

質 疑

問 北条東学童保育園の待機児童の状況は、第3学童保育園の開設により待機児童は解消されるのか。

答 令和7年4月に2名、夏季休暇時には7名の一時待機児童がありましたが、現在、待機児童はありません。第3学童保育園の設置により、定員は40人増えて110人となる予定です。令和8年度の入園申請者は現在82名あり、長期休暇期間のみの利用者についても、これまでの状況を勘案して、今後数年は待機児童は発生しないと考えます。

議案第80号 加西市学童保育園の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 泉学童保育園と北条東学童保育園は1学級ずつ増えるが、どのようにクラス分けをするのか。

答 令和8年度以降も、基本的には学年ごとのクラス分けをします。泉及び北条東第3学童保育園は、いずれも第1、第2学童保育園から独立した場所に設置するため、児童の生活の質の維持、保護者の送迎の負担の軽減、保育の質の向上などの観点から総合的に検討し、クラス分けをしていきます。

討 論

なし

議決結果

全会一致で原案可決



病床数適正化支援事業を 活用して許可病床数を 段階的に減少させる

概要 令和12年度に開院を予定する新病院の建設に向け、国の補助事業（病床数適正化支援事業）を活用し、許可病床数を段階的に減少させる必要があることから、令和8年1月1日から現在の許可病床数199床（一般病床193床、感染症病床6床）を184床（一般病床178床、感染症病床6床）とするもの。

質 疑

問 病床数を15床削減する理由は。

答 入院患者数の減少や新病院への円滑な移行を見据え、当初は令和8年4月より36床を減少させた163床で運営する予定でしたが、国の補助事業で給付金15床分が決定したため、先行して減少させるものです。

問 病床数適正化支援事業の補助内容は。

答 医療需要の急激な変化を受けて病床数の適正化を進める医療機関を対象として、令和7年9月末までに病床数を削減させながら入院医療を継続させる場合に、削減病床1床当たり410万4,000円の給付金が支給

議案第81号 加西市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

されます。今回15床を削減し、6,156万円の支給を受けています。

問 15床減少の内訳は。

答 一般病床193床のうち、急性期を94床から85床、回復期を99床から93床の178床とし、感染症病床6床と合わせて184床とします。

問 病床数削減による課題は。

答 医業収益を上げることが難しい状況であり、特に人件費率は県内平均を大きく上回っています。新規採用を抑えつつ、世代間のバランスを取りながら、サービス低下を招かないよう、地域医療を維持していきたいと考えます。

討 論

なし

議決結果

全会一致で原案可決



(仮称)加西中央統合中学校 護岸矢板及び敷地整備工事の 完了期限の変更

概要 令和7年6月23日に請負契約を締結した(仮称)加西中央統合中学校護岸矢板及び敷地整備工事について、工期を延長するもの。

契約金額	1億6,251万4,000円
工事完了期限	変更前 令和7年12月26日 変更後 令和8年3月31日
契約の相手方	西岡建設株式会社 代表取締役 西岡和紀

質 疑

問 契約変更の理由は。

答 ため池を仕切る鋼製矢板の設置に当たり、計画どおり水位を下げるができず、水位が高い状態で矢板を設置することとなりました。そのため、運動場敷地側の排水量が大幅に増え、また、排水作業に伴う水压差により排水の一部が矢板の隙間から戻ってくる現象も重なり、排水作業に不測の日数を要するためです。

問 ため池の水位を下げるできなかった要因は。また、事前調査で把握できなかったのか。

答 池底の一部が想定より浅く、水位を下けると既設の太陽光パネルが池底に当たって破損するおそれが生じたことが要因です。矢板周りや埋め立てる運動場については詳細な測量を行っていますが、太陽光パネルの下は工事と直接関係しない範囲のため測量を行っていないことから、池底の形状把握は困難な状況でした。

議案第84号 (仮称)加西中央統合中学校護岸矢板及び敷地整備工事請負変更契約の締結について

問 排水対策と現在の工事の状況は。

答 矢板の池側にブルーシートを張って止水効果を高め、戻り水を少なくした上で排水します。現在、ポンプ2台を使って排水を行っており、順調に運動場敷地側の排水が進んでいます。



討 論

賛成

・令和10年4月開校に向けて着実に工事を進めていただき、子供たちが使う中学校の敷地として、安全で安心できる場所となるようお願いしたい。(本会議)

議決結果

全会一致で原案可決



スクールバス購入や 学校給食賄材料費の増など

議案第85号 令和7年度加西市一般会計補正予算(第3号)について

質 疑

障害者福祉費 1億2,000万円の増

問 介護訓練等給付費の増額理由は。

答 就労継続支援A型事業所が開設されたことなどに伴い、利用の増加が見込まれるためです。

播磨内陸医務事業組合負担金 455万9,000円の増

問 播磨看護専門学校運営に係る負担金の増額理由は。

答 教員の療養休暇に伴い代替職員の派遣経費が必要となるとともに、学生数の減少により授業料収入が減少するためです。

農政推進事業

371万2,000円の増

問 担い手確保・経営強化支援事業補助金の内容と支給対象者は。

答 農業の担い手支援を目的として、農業用機械の導入費用などを補助するもので、認定農業者に支給することとしています。

スクールバス購入費

1億2,830万円の増

問 泉統合小学校以外の小学校のスクールバス導入の予定は。

答 中型バス(45人乗り)2台、マイクロバス(29人乗り)7台、ワゴン車(14人乗り)2台の計11台を購入予定です。

**学校給食の賄材料費**

1,200万円の増

問 増額の理由は。

答 米をはじめとする主要食材が高騰し、学校給食にも大きな影響が生じています。特に米の価格は、1キログラムが491円から680円となり、大幅に上昇しています。他にも旬の野菜や魚は天候などによって単価の変動もあるため、厳しい食材価格となっています。令和6年度の食材購入実績と比較し、約8%の伸び率で算定しています。

討 論

なし

議決結果

全会一致で原案可決



国の物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金 2億3,673万5,000円の受入と活用

議案第90号 令和7年度加西市一般会計補正予算(第4号)について

質 疑**物価高対応子育て応援手当**

1億1,073万5,000円の増

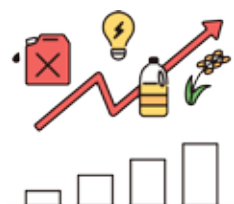
問 手当の内容は。

答 平成19年4月2日から令和8年3月31日までに生まれた子供を養育する父母等に対して、子供1人当たり2万円を支給します。対象は5,400人を見込んでいます。



問 どのような手順で支給されるのか。

答 児童手当を受給されている方に手当の受け取りについて意思確認書を郵送し、受け取りを承認された方の児童手当振込口座に順次振り込みます。令和8年1月下旬に支給する予定としています。

**水道基本料金の免除延長**

4,900万円の増

問 免除の期間は。

答 水道基本料金を令和7年7月検針分から12月検針分まで免除していましたが、交付金を活用して、令和8年1月～3月検針分も免除します。また、令和8年4月～10月検針分も令和8年度予算で免除します。

下水道基本料金の免除開始

7,700万円の増

問 免除の内容は。

答 交付金を活用して、令和8年1月～3月検針分の下水道基本料金を新たに免除します。また、令和8年4月～10月検針分も令和8年度予算で免除します。

討 論

なし

議決結果

全会一致で原案可決

第 316 回 令和 7 年 12 月定例会 議決結果一覧

全会一致で適任と答申、可決した議案

- 諮問 第 12 号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 議案 第 72 号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案 第 73 号 特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案 第 74 号 加西市新病院建設基金条例の制定について
- 議案 第 75 号 加西市公契約条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案 第 76 号 加西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案 第 77 号 加西市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案 第 78 号 加西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案 第 79 号 加西市立小学校、中学校及び特別支援学校の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案 第 80 号 加西市学童保育園の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案 第 81 号 加西市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案 第 82 号 土地改良事業の計画の変更について
- 議案 第 83 号 字の区域の変更について
- 議案 第 84 号 (仮称) 加西中央統合中学校護岸矢板及び敷地整備工事請負変更契約の締結について
- 議案 第 85 号 令和 7 年度加西市一般会計補正予算(第 3 号)について
- 議案 第 86 号 令和 7 年度加西市介護保険特別会計補正予算(第 2 号)について
- 議案 第 87 号 令和 7 年度加西市水道事業会計補正予算(第 2 号)について
- 議案 第 88 号 令和 7 年度加西市下水道事業会計補正予算(第 1 号)について
- 議案 第 89 号 令和 7 年度加西市病院事業会計補正予算(第 2 号)について
- 議案 第 90 号 令和 7 年度加西市一般会計補正予算(第 4 号)について
- 議案 第 91 号 令和 7 年度加西市水道事業会計補正予算(第 3 号)について
- 議案 第 92 号 令和 7 年度加西市下水道事業会計補正予算(第 2 号)について
- 意見書案 第 1 号 刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書について



西脇 親 議員
(改革未来・自民の風)
・加西市民の会



マイナ保険証への移行について

問 マイナ保険証を持っていない、マイナンバーカードを持っていないときの病院利用はどうしたらいいのか。すぐに医療機関を受診しなければならなくなったとき何が必要なのか。

答 医療機関を受診される際には、従来の健康保険証に代わってマイナ保険証が資格確認書が必要となります。今後しばらくの間は有効期限が切れたことに気づかず、多くの方が従来の健康保険証で受診されることが想定されますので、令和8年3月31日までの暫定的な措置として、医療

機関のシステム照会などで加入健康保険を確認した上で、通常の自己負担で医療を受けられることになっています。

問 マイナ保険証のメリットは。

答 過去に処方されたお薬や特定健診等の記録に基づいてよりよい医療が受けられたり、救急現場でより適切な応急処置や搬送先の病院の選定に活用されます。また、マイナポータルで確定申告する際の医療費控除申請が簡単になるなど各種手続きが簡略化されます。中でも、医療機関で自己負担の上限が確認できるため、限度額適用認定証を事前申請しなくても、限度額を超える支払いが不要となることは、多くの方にとってメリットが大きいのではないかと考えます。そのほか、マイナンバーカードでこども医療費助成な

どの福祉医療費助成やその他の公費負担医療の受給資格が確認できる仕組みや、スマートフォンをマイナ保険証として利用できる仕組みが徐々に広がっています。

問 マイナンバーカードの期限が切れたらどうなるのか。

答 マイナンバーカード本体の有効期限が切れても、3か月間はマイナ保険証として利用できますが、市役所窓口でお早めに更新手続きをお願いします。また、マイナンバーカードの電子証明書の有効期限が切れても同様です。

■その他の質問項目

- ・北播磨広域定住自立圏共生ビジョン
- ・これから食糧自給に向けて
- ・学校跡地の有効活用と富合会館の行方



田井 真一 議員
(改革未来・自民の風)
・加西市民の会



健康増進・生きがいづくりに 総合運動防災公園は絶対に必要なのか？

ある廃校となる小中学校の8棟の体育館や武道館、運動場などを活用する方が、理にかなっていると考える。どのような議論・検討をしたのか。

答 既存施設の老朽化対策や機能改善など複数の施策案を検討し、利用者ニーズや整備効果などを勘案して当該公園整備を決定しました。

投資と価値

問 市長は「当該公園整備は、将来への投資である」と言われていたが、投資は価値を生み出すことを期待する。「施設活用による収入増加」「周辺地域への経済効果」「地域住民や地元企業へのメリット」などはほとんど期待できないと考えるが、どのような認識か。

答 利用料収入、スポーツ大会や交流イベントなどによる

市内外からの来訪者の増加や地域で支える環境づくりなど、総合的価値向上に寄与すると考えます。

収支見通し

問 民間誘致せず公設公営であれば、整備・運営財源は税金となる。利用料収入、市債償還・管理運営の経費など今後20年間の収支見通しは。

答 収支見通しは基本設計で規模を確定してから検討します。収益一辺倒ではなく、公益施設としての継続的管理を目指します。

交通問題

問 大規模イベント開催時などには交通渋滞など地域への影響が懸念されるが、認識は。

答 近隣住民にとっては、課題もあるが期待も大きく、問題は無いと考えます。

整備の目的

問 基本構想に「市民の健康増進や生きがいづくり」「スポーツを活かしたまちづくり」「防災力の強化」を掲げているが、これが総合運動防災公園の整備の目的か。

答 そのとおりです。

気軽にスポーツ活動

問 上記目的や市が目指す「市民誰もがいつでもどこでもいつまでも気軽にスポーツ活動ができる社会の実現」には、大規模公園を整備するよりも、各地域に



深田 照明 議員
(加西市民クラブ)



加西市内のクマの目撃状況と今後の対応策

で最も少ないとのことでした。

問 目撃情報の迅速な伝達・広報は。

答 広報 10 月号に熊出没の注意喚起記事を掲載しています。熊を目撃されたときは、まず市役所に連絡していただくようお願いしていますが、実際は、ほとんどの方が警察に通報されています。加西警察はその情報を市役所に伝達すると同時に、ひょうご防災ネットに配信しています。加西市では、情報を受けてかさいライフナビと加西市公式 LINE に速やかに配信し、市民に注意喚起を行っています。

問 目撃情報があったときの現地確認は。

答 熊の目撃情報があったときは担当職員が現場に足を運

んで、足跡やふんなどの痕跡調査をしています。痕跡があれば写真を撮影して兵庫県森林動物研究センターに送信し、判断と指導を仰いでいます。なお、令和 7 年度は熊と断定できる痕跡が残っているものはありませんでした。

問 熊出没に対する警察・猟友会などとの協議体制は。

答 今後、熊が人の日常生活圏に現れ、居座る等の可能性もあると考え、新たに制度化された緊急銃猟に備え、警察や猟友会、行政など関係機関によるツキノワグマ出没対応検討会議を開催しました。改めて意思共有を図るとともに体制整備を進めています。

意見 市民の命と安全を守るために、しっかりとした対応・対策をお願いします。

問 熊の目撃数の推移は。

答 令和 4 年度に鍛冶屋町と大工町の境付近、5 年度に若井町釜坂峠付近で 1 件ずつツキノワグマの目撃情報がありました。7 年度は 5 件で、7 月 11 日に上芥田町、11 月 7 日に河内町と栄町、同 13 日に大内町、同 16 日に上道山町で目撃情報がありました。7 年度はここ数年と比較すると多くなっていますが、兵庫県森林動物研究センターによると、今秋の兵庫県周辺はどんぐりが豊作で県内の熊の目撃数、痕跡数は過去 5 年



高橋 佐代子 議員
(改革未来・自民の風)
(加西市民の会)



新病院周辺整備について

いて調査しているところです。メディカルタウン構想は、単なる病院の建て替えではなく、病院を核とした新しいまちづくりを目指しています。全体構想のスケジュールは、基本構想では示していませんが、新病院開業の目標としている令和 12 年度中の実現を目指しています。今後、具体的な計画をお示しできる時期となりましたら報告します。

また、メディカルタウンの実現に向けて、構想の要素である医療、福祉、商業が物理的、機能的に連携することが重要です。連携の促進のためには、単なる医療機関の集まりではなく、地域全体の活性化を目指すため、多様な分野の代表者として、医師会、福祉・介護関係者、商工会議所、金融機関、開発業者で構成する推進組織が必要と考えています。

問 構想の遅れは、周辺整備の遅れを招き、地域活性化の効果を低下させるものと考えますが、見解をお聞かせください。

答 (副市長) 新病院建設と並行して、民間企業誘致に取り組む、特に調剤薬局は遅れるわけにはいかないため、同時オープンを目指しています。新病院は多くの市民が集まる加西市の拠点となるため、複数の道路からアクセスできる場所を選定しており、にぎわい、医療、健康が集まる複合施設の整備であると考えています。今後も地域活性化の拠点となるよう実現に向けて取り組みます。

■その他の質問項目

- ・行財政改革について
- ・ごみ対策について
- ・学校統合跡地計画について
- ・教育行政について



高見 博道 議員
(令和新風加西)

水道が届いていない ところへの防火対策について



問 加西市内で水道が届いていない神社仏閣はどれくらいあるのか。

答 上水道の給水区域図を確認したところ、坂本町の法華山一乗寺、網引町の周遍寺、河内町の普光寺、上芥田町の久学寺の4か所が給水されていない区域に該当します。

問 周遍寺以外は居住されているが、防火水槽など対策はできているのか。

答 法華山一乗寺は、防火水槽や放水銃等の消火設備が整備されています。また、普光寺は、境内に初期消火に適した堀があることを確認しています。

久学寺は、過去の消防の点検では、40立方メートル程度の堀があったようですが、現在は堀が浅くなって使えない状況であると聞いています。そのため、消火活動に当たってはため池の水を使わざるを得ない状況です。ため池から久学寺までの距離は約900メートルあり、必要なホースは約50本、中継時の消防車が2台必要となると想定されます。

火災が発生した場合でも、ため池、防火水槽、河川等の水利を迅速に確保できるよう努めるとともに、消防署、消防団が実施する一

斉放水訓練や林野火災訓練を継続的に行い、実質的な対応力の強化に万全を期していきたいと考えます。また、計画的に消火訓練等をしていただくように働きかけたいと思います。

要望 久学寺の防火対策について、歴史あるお寺を火災から守るために、防火水槽を設置するなど対策を進めていただきたい。

■その他の質問項目

- ・ 泉統合小学校について
- ・ 加西統合中学校について
- ・ 加西インター産業団地について



北川 克則 議員
(令和新風加西)

泉小学校統合に向けて



問 統合泉小学校スクールバスの最新運行案について。

答 登校時は、5台で11ルートを予定しています。1号車はマイクロバスで、若井ルートと万願寺ルートの2ルートです。2号車はワゴン車で、芥田ルートと道山ルート、それから中富南部の船岡ルートの3ルートです。3号車はマイクロバスで、油谷大工ルートと河内ルートの2ルートです。4号車は中型バスで、国正ルートと笹倉ルートの2ルートです。5号車は中型バスで、小印南青野ルートと池上満久ルートの2ルー

トです。運行主体については、中型バス1台は市で運転手を雇用し、残り4台は委託する方向です。

問 バス車両の通学以外の活用方法は。

答 スクールバスの空き時間の活用としては、小中学校の校外学習やこども園の遠足など、スクールバスの運行時間に支障がない範囲で可能と考えます。限られた時間ですが、市内にある網引湿原やsoraかさいの見学、また、こども園の市内の遠足を想定しています。休日は中学校の部活動での大会参加なども想定しています。中型バス1台は市で運転手を雇用しますので、柔軟かつ積極的に活用したいと考えます。二、三台必要な場合は、運行を委託している車両も活用していきたいと思っています。これまでのバスの借上げ

費用を抑えることができると期待しています。

問 今後、見守り隊やワッショイスクールに期待される役割は。

答 4月からスクールバスの運行が始まります。児童にはバスの乗り方、バスの待ち方について学校で指導していますが、見守り隊の皆様には、バスの乗降場所での見守りや声かけを引き続きお願いしたいと考えます。ワッショイスクールについては、小学校の統合後は、各地域の見守り活動への御協力をお願いしていきたいと考えます。

■その他の質問項目

- ・ 小学校の跡地利用について
- ・ 太陽光発電施設の開発について



橋本 真由美 議員
(清流会・かさいを育む会)

本市の特別支援教育の現状と、未来は



問 国が義務づける特別支援教育の内容と本市の現状について、教育長のお考えは。

答 (教育長) 文部科学省は、特別支援教育を障がい児の自立や社会参加に向けた視点で必要な支援を行うとしています。本市では、幼児には支援を行う保育教員を配置し、義務教育段階では、特別支援学校、特別支援学級、通級を適切に設置しています。

問 「教育の重点」における特別支援教育の充実に対してどのように評価されるのか。

答 (教育長) 「教育の重点」に関する評価には課題があります。令和3年度から5年度は、基本方針のうち特性を的確に把握し、という部分のみを評価し、ほぼ達成としています。6年度はテーマを絞ったため評価項目に入っていません。しかし、令和6年度よりLITALICO教育ソフトという科学的なツールを導入し、幼小中の縦の連携がスムーズに行えるよう取り組んでいますので、達成できつつあると考えています。

問 本当の合理的配慮とは。加西市独自で力を入れているものは。

答 (教育長) 特別支援学校、特別支援学級、通級を設置しています。また、科学的なツールの導入により教員の指導力をさらに高めるとともに、特別支援教育支援員を独自に配置しています。

問 学校統合後の特別支援教育の質の保障は。

答 (教育長) 特別支援学級や通級なども法定どおり設置し、教員も手厚く配置します。市費による人的支援も行い、一層充実するのではないかと考えています。科学的なツールの活用、人的支援、見守りも含め行き届く体制づくりを考えています。

要望 特別支援教育は合理的配慮、合意形成が必須。一人一人の特性を理解し、どう接し、支援するのか、教員全ての質を保障するには、教員個々に合った研修が必要であるとする。さらに障害福祉の専門家を各校にアドバイザーとして配置していただきたい。教員の質の向上や、誤った支援の仕方にならないよう支えるアドバイザーは、必要な存在であるとする。



土本 昌幸 議員
(公明党)

グローバルセンターの活動状況について



問 グローバルセンターと国際交流協会、また監理団体の連携を進める必要があると考えており、グローバルセンターの活動状況についてお聞きます。外国人コミュニティのリーダー育成では、生活習慣等の理解に取り組むことで、近隣との関係もよい方向に進むと考えます。市が直接取り組む内容ではありませんが、取組の主体としてはグローバルセンターや国際交流協会、監理団体、そして、雇用されている企業についても関係があると思われます。その点についてお答えください。

答 国際交流協会では、各コミュニティの中心的人材として20か国56人を把握しています。彼らを通じて多文化交流会や事業の周知、情報共有等を各コミュニティに周知しています。日常的なつながりを持つことは、災害時の情報伝達にも重要であると考えます。コミュニティの情報共有の1例として、加西病院に設置された医療通訳システムの利用が令和6年度から大きく増加したことが挙げられます。外国人、特にベトナム人コミュニティの中で医療通訳システムの有用性が広まったと考えています。

このような中心的役割を果たす方の組織化やリーダーの認定等については環境が整っていませんが、必要性が高まれば制度として行うことも考えられます。企業とも連携を図り、研修生、技能実習

生、特定技能者、またエンジニア等とのコミュニティの連携に取り組むようグローバルセンターで進めていきたいと考えます。

要望 外国人コミュニティの中心的人材として、20か国56人を把握されているとのことですが、これはボランティア的なリーダーではないかと思えます。今後はグローバルセンターから正式に委託を行い、報酬等も決めて取り組むことにより、さらに充実が図られると考えますので、今の取組をもう1段階進めていただきたいと思えます。

■その他の質問事項

- ・ 農業振興について
- ・ 学校跡地活用について



森元 清蔵 議員
(清流会・かさいを育む会)

人口増に向けての取組の強化を



問 第6次加西市総合計画の人口目標の達成状況は。

答 令和7年4月1日現在の人口は4万1,244人です。計画の目標人口である4万1,990人には達していませんが、国立社会保障・人口問題研究所の推計人口4万291人を上回っています。

問 人口減少対策の主な事業とPRの実態は。

答 UJI ターン促進補助や大学生等遠距離通学定期券購入助成金、子育て応援の5つの無料化等を実施しており、ホームページやSNS等で発信しています。

問 移住・定住の取組は。

答 移住相談会では20組の相談があり、1世帯2人が移住されています。また、お試し滞在補助の利用は8件ありました。移住・定住の相談は250件となっています。

問 若者定住促進事業の状況は。

答 新婚世帯向け家賃補助が175件、若者定住促進住宅補助68件、結婚新生活支援補助8件の申込みがありました。

問 定住人口や交流人口ではなく、各市町に関心を持って援助したい気持ちのある人たち、関係人口を増やすことを国も提唱している。そのためには、加西市の魅力発信が必要ではないか。

答 加西市の強みである子育て支援施策とふるさと納税を

全面的に打ち出した広告、広報を行っています。

問 イベント参加者を関係人口として定着させていく必要があるのでは。

答 サイサイまつりや鶴野飛行場跡で開催したスカイフェスタ等の参加者を観光施設へ誘導し、情報発信や観光スポットのイベント誘致等を進めています。

問 約14万4,000人のふるさと納税寄附者に加西市をアピールし、関係人口へ結びつける取組が必要ではないか。寄附者との交流イベントをしてはどうか。

答 経費等の問題でイベント開催は難しいと考えます。ふるさと納税寄附者やイベント参加者、移住定住者を含め幅広く加西市の魅力を伝え、また、市民が加西市に誇りを持てるような情報発信も重要だと考えています。



森田 博美 議員
(清流会・かさいを育む会)

市長の行政執行を問う ⑤



と思いますが、具体的な報告はもう少し先になります。新病院の調剤薬局については関係事業者と交渉が進んでいる状況です。

問 我々は市民から尋ねられても説明できない。跡地の活用も含め、大ざっぱな内容やスケジュールは説明してほしい。医師会との協議もお願いしておきたい。

答 (副市長) 現時点ではお答えできる内容はありません。調剤薬局の件は協議中であり、具体的な内容が見えてくれば必ず議会にも報告します。もう少し時間が必要な現状とご理解ください。三師会も含めて具体的な計画がまとまってくれば報告したいと思っています。

問 新病院の計画が5年延びたことにより、医療機器や建

物、設備の老朽化等への影響は。

答 医療機器は計画的な更新に努めていますが、修理のサポート期間を超えて使用している機器が多いのが現状です。電気、給排水設備等の建築設備等の故障も発生しています。西館のマルチ空調設備は老朽化による故障が課題ですが、病院業務に支障が出ないよう努めています。

問 病院の跡地利用について、その検討は進んでいるのか。

答 (市長) 水面下の話もありましたが、5年以上先の話のため立ち消えとなりました。跡地利用は移転した後の話ですが、市有地のため特段迷惑はかからないと思います。移転後に有効利用を検討しますが、今のところ活用案はありません。



下江 一将 議員
(清流会・かさいを育む会)

将来の不安を減らす ライフプラン講座の実施に向けて



問 物価高騰が続く中で、若年層や子育て世代の結婚や出産、子育てに対する意欲にどのような影響が出ていると認識しているのか。また、その影響をどのように把握されているのか。

答 物価高により子供の養育にかかる経済的負担が大きくなっていることは事実です。その影響を把握する手法として、アンケート調査も検討していきます。

問 市が実施する若者や子育て支援施策に、家計管理や将来設計を学ぶ金融教育やライフプランニングは含まれているか。

答 マネープランニングや起業・副業、扶養や税金の仕組みなどに加え、子育て生活に関する講座などを開催しています。ファイナンシャルプランナーによるセミナーなどを定期的に開催し、生活設計に役立ったと好評です。

問 若者や子育て世代が自身の将来像を描きやすくするために、ライフプラン講座の開催は必要ではないか。

答 そのような機会の提供は、若者や子育て世代が自立した人生設計を行うための重要な要素だと認識しています。

問 子育て世代が参加しやすい講座として、託児や親子参加、オンライン開催などの環境整備が必要ではないか。

答 アスでも開催することにより託児付きの講座が可能と

なります。また、オンラインによる動画配信や、eラーニングの活用など、子育て世代が参加しやすい柔軟な受講体制の整備が重要であると考えます。

問 ライフプラン講座の実施に当たり、外部専門家との連携体制の構築が必要ではないか。

答 包括連携協定を締結した生命保険会社の協力を得るなど、専門的な知見を持つ団体との連携を今後も積極的に進めていきます。

問 若者や子育て世代のため、ライフプラン講座の実施を前向きに進めていただけるのか。

答 これからの時代、ライフプランニング支援は非常に大事になってきますので、積極的に進めていきたいと考えます。



佐伯 欣子 議員
(清流会・かさいを育む会)

給食センター民間委託を性急に進めていいのか！ ～安全・安心おいしい給食を目指して～



問 運営方式検討委員会の設置と経緯。

答 学校給食センターの調理員37名のうち正職員は1名ですが、令和8年度末に退職を迎えます。また、調理員不足も続いており、今後の調理業務の在り方を検討する必要があるため、委員会を設置しました。安全安心な給食の提供や効率的な運営について議論を重ね、計3回の委員会を経て調理業務を民間委託とする答申を頂いたところです。

問 検討委員会の内容と問題点。

答 現状のまま給食を安定して提供するにはどうすればいいのか、また、市の方針として正職員は採用しないこと、委託した場合は委託料の方が高くなることなどについて話し合いました。

問 市民への働きかけ、アンケートや意見募集はされなかったのか。されるべきではないのか。

答 保護者に対する説明会や個別の意見聴取の機会は設けていませんが、保護者代表には検討委員会に参加していただきました。委託となっても、給食に対する安心や信頼は損なわれないものとして進めてきたところです。

問 市民への説明は必要。市民を置き去りにしていないか。

答 市としては、調理業務の民間委託の方向性を視野に、

20年以上前から正職員は雇用しない方針で現在に至っています。これまでの対応不足は反省する点がありますが、正職員がいなくなる現状での議論ということです。

問 20年前からの事情があったとしても、現在の直営の給食が本当によいと分かっているなら、どんな状況であっても改善していくことが市民のためではないのか。また、防災の観点から、給食センターは直営の施設として市職員がいることで地域住民の命を守る重要な拠点となり、安全安心でおいしく豊かな給食が提供できると考える。学校給食に対する市の考えは。

答 委託となっても給食や食育を大切にしたいという考えは何ら変わりません。これまでどおり食育活動に取り組みます。



丸岡 弘満 議員
(改革未来・自民の風)
・加西市民の会

カスハラや侵入者等から 学校・園を守る対策を急げ！



問 現在の防犯カメラ台数で学校の安全が守れるのか。適切な場所に適切な台数を効果的に設置し、校舎・園内への設置も検討する必要がある。

答 防犯カメラ設置について警察からも要望があり、予算の範囲で増やしていきたいと考えます。私立こども園内は全て設置されています。公立園でも設置要望はありますが、小中学校を含めて他市の状況も調査し、慎重に検討します。

問 日本版 DBS は、性犯罪を防止する措置の1つとして、

子供に接する仕事に就く人に対して性犯罪歴の確認を義務づける制度だが、その対象は。また、間接的に子供と関わる職種や民間事業者はどうなるのか。

答 学校・園などは公・私立を問いません。また、教員や保育士など正規・非正規を問わず確認が義務づけられます。スクールバス運転手など間接的に関わる職種やスポーツクラブ等の民間事業者も対象ですが、国のガイドラインを基に対応を検討します。

問 保護者からの過剰な苦情、不当要求の対応に苦しんでいる学校、教員がいる。現在の状況やカスハラ対応は。

答 市内の学校でもそのような事案があります。まずは関係者から話を聞いて真摯に向き合い、学校で解決できない場合は教育委員会も加わります。それでも

対応が困難な場合はスクールロイヤーに相談し、法律的なアドバイスを受けます。また、退職した学校長を学校経営アドバイザーに任命し、相談体制を整えています。

問 カスハラの境界線が曖昧なため、教員や学校が保護者対応に苦慮し、教員のストレスや学校とのトラブルが深刻化しやすい。北海道や大分県津久見市は既に対応マニュアルを策定し、東京都教育委員会も対応指針案を出した。境界線を具体化し、教員の心理的負担の軽減や長時間の拘束を防ぎ、長時間労働の是正につなげることが必要ではないか。

答 (教育長) 以前、保護者からの行き過ぎた行為がありました。他市の事例を参考にして、今後ガイドラインを策定し、教員が安心して業務に専念できる体制づくりをしていきます。

閉会中の議会活動報告

各委員会が行政視察を行い、それぞれの所管事務について先進地の事例を学びました。

行政視察（総務常任委員会） 令和7年10月23日～10月24日

◇ 広島県呉市（令和7年10月23日（木）13：30～15：00）

＜視察項目：子育て支援事業のWeb申請化事業について＞

子育て関連手続のデジタル化により、放課後児童会（学童保育所）、児童手当、乳幼児等医療費助成、保育所等入所申請などをオンライン化し、スマホなどで手続を完結させる取組を進めている。このWeb申請により、申請手続のために3回来庁されるところを1回に軽減することができ、保護者や市民の負担軽減が図られ評価が高まっている。

◇ 山口県周南市（令和7年10月24日（金）9：30～11：00）

＜視察項目：部活動の地域移行について＞

従来の学校主体の「学校部活動」を廃止し、新たに周南市文化振興財団や市スポーツ協会が設置する「かるちゃあサポートセンター」「スポーツ活動サポートセンター」を事務局とする文化芸術・スポーツ団体や学校、地域住民、行政等が一体的に取り組む体制への移行を図られている。この部活動の地域移行は中学生が生涯にわたり、文化芸術・スポーツ活動等に継続して親しみ楽しむことができる機会の創出にもつながっている。



行政視察（建設経済厚生常任委員会） 令和 7 年 11 月 11 日～ 11 月 12 日

◆千葉県袖ヶ浦市（令和 7 年 11 月 11 日（火）13：30～15：00）

＜視察項目：再生資源物の屋外保管に関する条例について＞

再生資源物は廃棄物ではなく有価物であるため、現状の廃棄物処理法の対象外で規制する法令がなく、多くの自治体で地域住民の不安に対処しにくい状況にある。袖ヶ浦市は対象事業所と話し合いを続けて、金属スクラップヤード（屋外保管された再生資源物）の崩落、飛散、火災、有害物質の流出、騒音、振動、悪臭などの未然防止と軽減を図る条例を制定し、市民生活の安全と生活環境を守っている。



◆神奈川県伊勢原市（令和 7 年 11 月 12 日（水）9：30～11：00）

＜視察項目：こども家庭センター附属棟整備について＞

これまで執務場所が分散していたこども家庭センター関係部局 4 課を一元化するために、新たに附属棟を建築して「こどもみらいプラザ」を開設した。この一元化により母子保健と児童福祉の機能が集約され、妊産婦、子育て世帯、子供に対して、切れ目のない一体的かつ継続的な相談支援や情報共有・連携ができています。また、職員相互の連携が深まり、それぞれがより専門性を発揮した業務遂行ができています。



行政視察（議会運営委員会） 令和 7 年 11 月 18 日～ 11 月 19 日

◆三重県松阪市（令和 7 年 11 月 18 日（火）13：30～15：00）

＜視察項目：議会改革について＞

議員定数・報酬・政務活動費などの議会改革事項について、全議員で構成する議会改革推進に関する特別委員会で協議を重ねている。また、従前の「市議会だより編集委員会」では、ほぼ事務局が作成した議会だより案を議員がチェックするための委員会であったが、広報広聴機能を強化するために「広報広聴委員会」として格上げし、市議会だよりの編集・発行、議会報告会、市民との意見交換会、市議会ホームページなどを委員会が主導することにより、市民により開かれた議会を目指している。



◆三重県伊勢市（令和 7 年 11 月 19 日（水）9：30～11：00）

＜視察項目：議会改革と広報広聴委員会について＞

議会のあり方調査特別委員会を設置し、政策等検討分科会、広報広聴検討分科会、議会 ICT 検討分科会の 3 つに分かれて議会改革の取組や調査、そして開かれた議会を目指して活動されている。主な取組として、① 議会基本条例及び議員政治倫理条例の制定、② 大規模災害発生時の市議会の対応（議会 BCP）、③ 伊勢市高校生議会開催、④ 議会報告会、意見交換会の開催など、主体性を持った議会活動を目指している。



このほかにも行政視察を実施して、先進地の事例を学んでいます。
詳細は市議会ホームページに掲載していますので、QR コードからアクセスしてぜひご覧ください。



議会報告「市民との意見交換会」

令和7年10月30日(木)と31日(金)、アスティアかさい地域交流センターの交流プラザにおいて、21名の市民の皆さんに参加いただき、議員との意見交換会を開催しました。

第1部では、令和7年9月定例会における審議内容を報告しました。その後の質疑応答では、小中学校体育館空調設備の整備に関する質問や意見がありました。

第2部では、(1) 学校の跡地利用について、(2) フリーテーマの2つのテーマについて、いくつかのテーブルに分かれてグループワーク形式による意見交換を行いました。

参加者からは下記のような意見をいただいています。

(1) 学校の跡地利用について

- 市の基本方針やスケジュールが分からないので、明確に示してほしい。
- もっと地域住民に説明して意見を聞いてほしい。若い人が意見を言える場が欲しい。
- 美術館や歴史資料館、フリースクールなど社会教育や生涯学習の施設として活用しては。
- カフェやペットサービスなど、コミュニティや地域の活動拠点として活用してほしい。
- 運動場や体育館などの使えるものは、スポーツや避難所として活用してほしい。
- 民間企業へ貸出しをすべきである。誘致する民間企業をどう見つけるのかが課題だ。
- スポーツ少年団に専用グラウンドとして貸し出す活用方法もある。

(2) フリーテーマ

【ハード・公共交通】

- 歩道のない道路の拡幅や防犯カメラの整備を充実させてほしい。
- 高齢化社会に対応するため、公共交通機関の確保が必要。

【医療・介護】

- 医療体制を充実させてほしい。加西病院の医師確保はどうなっているのか。
- 行政と地域が連携し、ジェネラルケアプランの作成や支援体制を整えてほしい。

【教育】

- AIやプログラミングなど、今の時代に合った「加西らしい教育」をつくっては。
- 個人のフリースクールに対する補助を考えてほしい。

【魅力的なまちづくり】

- 北条地区は店も多く住みやすいが、その他の地域も充実させる必要がある。
- 外国人との共生や若者が挑戦しやすいまちづくりを進めてほしい。
- 「加西といえばこれ」という目玉となるイベントや観光施設、特産物等をつくってほしい。

【行政・議会に対して】

- 様々な建物を建てているが、財政は大丈夫なのか。数字を示して説明してほしい。
- 多様な意見が出せるように女性議員が増えてほしい。



令和7年10月30日



令和7年10月31日

※ 議会報告「市民との意見交換会」の詳細については、下記QRコードからアクセスしてホームページをご覧ください。



市議会トピックス

● 閉会中の委員会開催日程

月 日	時 間	会 議
2月2日(月)	10:00	総務常任委員会
2月5日(木)	10:00	議会運営委員会
2月13日(金)	10:00	建設経済厚生常任委員会

● 令和8年3月 加西市議会定例会の予定

月 日	時 間	会 議
2月26日(木)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(提案説明等)
3月2日(月)	15:00	発言通告期限(質疑・一般質問)
3月9日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(質疑・一般質問)
3月10日(火)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(一般質問)
3月11日(水)	13:30	本会議(予備日)
3月12日(木)	9:00	総務常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会総務分科会
3月13日(金)	13:30	予算決算常任委員会総務分科会(予備日)
3月16日(月)	9:00	建設経済厚生常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
3月17日(火)	9:00	建設経済厚生常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
3月23日(月)	9:00	予算決算常任委員会(全体会)
3月25日(水)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(委員長報告・討論・採決)

表紙写真募集中!

市内で撮影した行事・風景・まちなみなどの写真を募集しています。お気に入りの一枚で表紙を飾ってみませんか?

令和8年4月3日(金)締切
令和8年5月1日発行号掲載

応募方法
など詳細
はこちら



請願・陳情について

請願書・陳情書はいつでも提出できますが、受付日によって審査が次の定例会になることがあります。

3月定例会での取扱いを希望される場合は、令和8年2月18日(水)17時までにご提出ください。

議案に対する意見募集

定例会において市長から提案された、市民生活に影響する条例や事業実施のための予算などの議案について、市民の皆様からご意見を募集します。

皆様から頂いた意見を全議員に配付して、議案審査の議論の活性化につなげてまいります。

詳細はQRコードからアクセスしてホームページをご覧ください。



加西市議会ホームページ

議会の日程や議案の審議結果、これまでに発行された議会だよりや本会議、委員会の映像、会議録を掲載



加西市議会公式X

市議会の活動や情報を発信
アカウント名: 加西市議会
URL: https://x.com/kasai_gikai

発行 加西市議会
編集 議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾 1000
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810
[email] gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会

委員長 深田 照 明
委員 佐伯 欣 子
委員 西 脇 親

副委員長 北川 克 則
委員 田井 真 一
委員 橋本 真由美